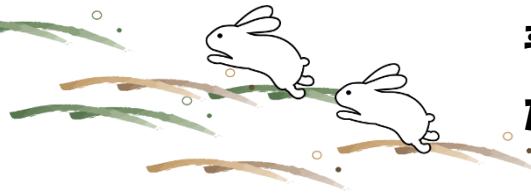




# たかといちどいだよ

平成29年9月 第24号

たかといちどい保育園



とても暑い夏でしたが、保護者の皆さんは体調を崩さないで過ごされましたか。子どもたちは元気にプールあそび、水あそびを思い思いに楽しみました。その中で、初めは水を怖がっていた子どもが平気にあそべるようになりました。また、抱っこ紐から卒業し、よちよち歩いて帰ったり、一人で靴を履けなかった子どもが自分で靴を履き、荷物をしっかり持っていたり、とそれぞれの成長が感じられます。

この頃「～ちゃんいっしょにかえろう」と一人でさっさと靴を履き、二人で手を繋ぎ玄関を出ていくかわいい後姿を見かけます。時には靴が履けないふりをして「ママして」と甘えたりしますが、自分に目的がある時は、さっと自分でできるのです。本当はできるけど今日は「甘えたい」「手伝ってほしい日」の感情になってしまうのでしょう。「ぼく、わたしの気持ちわかってよ」と訴えているのかもしれませんが。親はついつい「できるでしょ」「自分でしなさい」と言ってしまうと思います。それが普通です。しかし、子どもは親と離れて生活している中で、子どもなりに頑張っていることが沢山あります。子どもの社会とはいえ、必死で自分がその社会の中にいるために色々学びながら、その子なりに頑張っています。保護者が外で頑張っているのと同じように、子どもも園であそび等を必死に頑張っている疲れしていることもあります。だから保護者の方の顔を見ると甘えたくなり、わがままを言い、困らせているのではと思います。「ぼく、わたし頑張ったよ」と言いたいのでしょう。それが逆に甘えの態度に出してしまうのでしょうかね。実はそうやって「自分を出せる」のはいいことかもしれません。親に甘えやわがままを出せない子どもは、きっと外でわがままを言っていることがあるでしょう。わがままも色々ですが見極め、必要な時は受け止めてあげると、子どもの気持ちは落ち着き、機嫌がよくなり、心は満足し安定すると思います。少し時間はかかりますが、それが次への自立につながっていくと思います。

越智るみ子

## ☆たかとりちどりの生き物☆

子どもたちにとっては出会う生き物すべてが新鮮！戸外ではアリやダンゴムシを見つけると大騒ぎです。一人ひとりの好奇心を大切にしながら、保育士も一緒に見つけたり喜んだりして楽しんでいます。今、保育園ではメダカ、ザリガニ、カブトムシ、カタツムリ、おたまじゃくなどの生き物をみんなで育てています。

カタツムリ



おおきいね！



キャベツ  
たべてる～

なにしてる  
のかな？



ザリガニ

カブトムシ



シャワー（霧吹き）  
きもちいい？



生き物を見つけ、捕まえて、それらを虫かごに入れて満足して終わるのではなく、そこから飼うために、生き物にとって良い環境とはどんなものなのかをみんなで考えたり調べたりすることで、生き物を自分の仲間のように身近に感じることができるのではないかと思います。そして、そこから生き物への興味や理解、愛着が生まれるのではないのでしょうか。小さな生き物にもしっかり寄り添える思いやりの気持ちを育て、私たち保育士もこれらの意識を持って関わることを大切にしていきたいです。

菅俣 楓音



## あさひぐみ



先月は、感触遊びをしました。初めての感触遊びなので、子どもたちの反応が楽しみでした。最初は初めてのことに戸惑い、小麦粉粘土や寒天をじっと見つめる子どもたちでしたが、慣れてくると積極的に手を伸ばす姿が見られました。小麦粉粘土では、丸めようとしていたり、両手で持って伸ばしてみたりして、感触を楽しんでいました。また寒天遊びでは、スプーンですくおうとしていたり、握ったりすることを繰り返し楽しんでいました。これからも遊びや製作を通して、様々な素材に触れられるようにしたいと思っています。

気持ち良く過ごせるよう、朝の活動後や午睡前に沐浴を行いました。子どもたちは、シャワーから出るお湯に手を伸ばし、笑顔を見せて喜んでいました。今後も、気温の高い日には沐浴や体拭きをし、気持ち良く過ごせるよう配慮します。また、気温の変化に留意しながら室温の調節や換気を行い、快適に過ごせる環境を整えていきます。

今月は、ひだまり保育室で過ごす機会を多くつくり、滑り台や巧技台などの遊具で遊びたいと考えています。また、天候の良い日には屋上園庭へ遊びに行き、体を動かすことを十分に楽しめるように誘いかけていきます。

河原 彩夏



## ひかりぐみ



プール遊びにもすっかり慣れたひかりぐみの子どもたち。ワニ泳ぎをしたり、顔を水に付けようとしていたりして楽しむ姿が見られるようになりました。また、プールからあがる時には、自分で水着を脱ごうとしていたり、タオルで体を拭こうとしていたりなど、少しずつ身の回りのことにも自分で取り組み、この夏でひとまわり大きくなったなと成長を嬉しく思います。

先月は糊を使った製作をしました。「1」の指で付けることを伝え、「ぺったんする!」と興味津々で、○△□の紙を一枚一枚貼ってきれいな花火が完成しました。初めてのことで戸惑う子どももいましたが、保育士が糊をつけたり、一緒に手を添えたりすると貼って楽しむ姿が見られました。これからも、色々な素材に触れて、作ることを楽しめるようにしていきます。

最近、トイレにも少しずつ興味をもち始めて、誘いかけると便器に座っています。タイミングよく排泄できると「でたっ!」と嬉しそうな笑顔を見せるお友だちもいます。その喜びに共感し、これからもトイレで排泄する気持ち良さが感じられるように一人ひとりの様子に合わせて誘いかけていきます。

今月もサーキットや体操、おいかけっこなど、のびのび体を動かす活動をたくさん取り入れて、楽しく過ごせるようにしたいと考えています。

谷川 美里



## 9月の予定



交通安全教室	5日(火)	誕生会	8日(金)
避難訓練	14日(木)	発育測定	25日(月)~27日(水)
体育あそび	14日・28日(木)		

※第2回親子ふれあいデー(運動会ごっこ)を10月21日(土)に予定しています。保護者の方参加の行事となりますので、よろしくお願ひいたします。(今年度は千歳公園で行う為、雨天時は翌週28日(土)に延期となります。)



## にじぐみ



先月は色水遊びや片栗粉遊びをしました。色水遊びでは、クレープ紙という水に色が付く魔法の紙を入れて「おいしくなあれ」と言いながらジュースを作りました。「リンゴのジュース!」「どうぞ」とコップについて楽しみました。片栗粉遊びでは「とろとろするね〜」「あ、とけるとける〜」と友だちと楽しさや驚き、発見を話していました。

表現遊びではピアノの音に合わせて動物になりきっています。「次はライオンしたい!」「カエルになる!」と子どもたちが自分の考えや気持ちを伝える姿が見られます。また、「せんせい、みてみて。ライオンってこうやってあるく!」と自信いっぱい保育士に見せています。引き続き、子どもたちがなりたいものに変身し、体を動かす楽しさを感じられるように、保育士も一緒に参加して子どもたちの言葉を引き出していこうと考えています。

月一回の食育では、スプーンやフォークの正しい持ち方について話を聞きました。給食の時には、「もちかた、こう?」と確認して正しい持ち方で食べようとしてとても意欲的です。食事の時に声を掛けて少しずつ正しい持ち方で食べられるよう援助していきます。

今月は散歩に行き自然にたくさん触れる機会を作り、子どもたちの驚きや発見に共感し、楽しく過ごせるようにしていきます。

許斐 祐美



## きりんグループ



8月は、曇っている日や夕方の涼しい時間を利用して、屋上園庭で体を思いきり動かす機会を設けました。4・5歳の姿を見て、3歳児も「やってみたい!」と鉄棒や登り棒を使って意欲的に遊んでいました。お兄さんやお姉さんたちは、「こうするんやで!」と優しく年下の友だちに教える姿が見られました。前回りや逆上がりにも積極的に取り組んでいます。その意欲を大切に、保育士も参加し盛り上げていくことで、更に活発に運動遊びを行えるようにしていきます。

きりんグループの子どもたちはお手伝いが大好きで、「せんせい、これしょうか?」「てつだってあげる!」と声を掛けてくれます。3歳児は保育士と一緒に給食室まで食器の返却に行ったり、4・5歳児は夕方のお茶入れや週末の布団の片付けをしたりと、進んで手伝いを行っています。その姿を十分に認め、手伝いをしよう、という気持ちを伸ばしていきたいと思えます。

まだまだ暑い日が続きます。しっかりと子どもたちの体調を把握し、健康に過ごせるように配慮していきます。また、友だちとの言葉のやりとりをより一層楽しめるように、ごっこ遊びも沢山取り入れていこうと考えています。

中丁 紗穂



## ぞうグループ



毎日暑い日が続いていますが、暑さに負けず元気いっぱい過ごしているぞうグループの子どもたち。プールが終わり、部屋に帰ってくると「きょうもプールたのしかった〜」「おみずいっぱいかけたよ〜」と楽しそうに友だちとプールの様子を話す姿は、見ていてとても微笑ましかったです。先月は、子どもたちの大好きな「うちゅうたまご」の絵本をもとに、お絵描きや表現遊び、製作をしました。表現遊びではみんなでたまごに変身!「きらきらのたまごになってみる」「ころころころがってみる」「ぴょんぴょんとびはねてみる」と自分たちで動きを考え、イメージを膨らませて楽しむ姿が見られました。「おおきなうちゅうたまごが作りたい」という子どもたちの声から、おおきなたまごづくりにも挑戦。模造紙をたくさん並べて、「ここはこんなようにしよう」「たまごのかたちはこれをつかってつくろう〜」と話し合いをして、みんなで力を合わせて、素敵なおうちゅうたまごが完成しました。

生活面では、帰りの用意を忘れず最後まで自分で行えるようその都度声を掛けることで、進んで取り組み、「かばんにこれと〜これいれる」「〇〇ちゃんこれはいつてる?」と子どもたち同士で確認しあう姿も増えてきました。今後もひとつひとつ丁寧に伝え、一緒に確認することで、「自分でできた!」という自信や達成感が十分に味わえるようにしていきます。

今月は、ゆうびんやさんごっこをして、友だちや保育士とのやりとりを存分に楽しめるようにしたいと考えています。

長田 麻里